

平成7年度(第63回)野球大会 (株)関電工が2年ぶりに優勝

平成7年度(第63回)野球大会組合わせ表

(日)日の丸球場 (桜) 桜球場
(ヒ)ヒマラヤ球場 (ケ)ケヤキ球場
(大)大銀杏球場 (コ)コブシ球場



▲優勝 (株)関電工ナイン



▼準優勝 (株)きんでんナイン

▼決勝戦得点結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
関電工	0	0	1	2	0	0	1	0	0	4
きんでん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



最優秀選手賞
大野武(関電工)



敢闘賞
村田強(きんでん)

(注)東京電業協会の第63回野球大会は、日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設工業新聞社、電気新聞並びに電設工業健康保険組合の後援により、5月5日(金)から9日(火)にかけ、明治神宮外苑軟式球場において40チームが参加して開催された。

大会は、前日の夜から降りだした雨が、大会当日の8時頃にやんだが、グラウンドコンディションの関係で、試合開始が午後2時にずれ込んだ。その影響で開会式は行わず、即第一試合が開始された。その後、天気は持ち直し順調に試合が消化されたが、雨の影響で決勝戦は9日(火)にずれ込むこととなった。

準決勝戦は、昨年の覇者(株)きんでんと東芝プラント建設(株)及び、昨年準優勝の(株)関電工と初出場の扶桑電機(株)でそれぞれ試合が行われ、1対0で(株)きんでんが、2対1で(株)関電工が勝ち、それぞれ決勝戦に進んだ。

決勝戦は、強豪同士の対決だけに熱の入った試合となったが、好機にタイムリーヒットが出て、着々と加点した(株)関電工が4対0で(株)きんでんを破り、昨年の雪辱を果たした。

決勝戦の後、表彰式が行われ、紅田会長から(株)関電工チームに賞状、優勝旗、優勝杯、準優勝の(株)きんでんチームに賞状、準優勝杯、三位の東芝プラント建設(株)チーム並びに扶桑電機(株)チームに賞状、三位杯がそれぞれ授与された。

なお、個人賞は、最優秀選手賞に(株)関電工チームの大野武選手、敢闘賞には(株)きんでんチームの村田強選手が選ばれた。

最後に大会運営に携わっていただいた役員関係各位に対し感謝の意を表します。また、参加していただいた選手の方々、大会運営にご協力いただき有り難うございました。

(野球部委員長 沢野真一)

